



# 地域で輝く やまがたの 若者たち

enjoy!  
yamagata

地域の課題解決や、自身の経験を生かして誰かの役に立とうと、活動を始める人がいます。このコーナーでは、若者支援コンシェルジュがこれまでに会った、熱意ある若者のみなさんに、活動内容や地域への想いを寄稿いただきました。



## あなたも、家族も、地域も、HAPPYに！

### HAPPY LIFE 薬剤師 今井 隆裕さん



(ホームページ)

Contact

smile.pharmacist.119@gmail.com



#### ★活動内容

今年の7月から、会社員(薬局で働く薬剤師)をしながら、個人事業主としても活動を始めました。主な活動は講演と派遣・コンサルティングです。薬局薬剤師として20年近く働いた知識と経験をもとに、地域のサロンや健康講座でお話したり、医療・介護職の皆様にもむけての研修の場でお話しております。薬局向けには、業務のお手伝いをしたり、在宅医療や地域活動のアドバイスをしております。ちょっと変わった活動として、学生時代から続けているジャグリングもしています

#### ★これから

個人事業主になった目的の1つは、会社に頼らずに地域貢献を事業とすることです。今はまだ、個人事業主としての活動は少なく、会社員としての働きがメインとなっていますが、まずはその比率を半分ずつにできれば良いなあと考えています。薬局薬剤師として働くことも大好きなので、そのうえで地域での活動が事業として成り立つたら幸せです。会社員+個人事業主という新しい働き方を作り上げ、後輩薬剤師の新しい道も作れたら最高ですね！

(笑)。関わる皆さんを幸せにする活動を心掛けています！

#### ★地域への想い

薬局薬剤師として働いているうちに、地域医療を支えたいという気持ちが芽生えてきました。【薬局⇨処方箋を持っていて薬をもらつところ】というイメージの方も多いかと思いますが、実はご自宅に訪問する在宅医療や、サプリメントの相談やちょっとした不調に対応するセルフメディケーション、地域住民の健康を支えるための健康教室など、薬局でやれることはたくさんあるんです！ 個人事業主として、このような地域活動に積極的に取り組み、地域の皆さんの役に立ちたいと思っています。白衣を着ていないときも頼られたいです。

## 地域を元気にするみなさまを応援します！

**若者サポーター**は、地域を元気にする活動をしている、またはこれからしたいと思っている若者のみなさんを応援するために作られた制度です。これまで「団体の作り方を知りたい」、「機材の操作方法が知りたい」、「起業したい」、「一緒に交流活動してほしい」など、さまざまな依頼がありました。

現在は34名の若者サポーターが登録しています。地域活動実践者で、みなさんよりちょっとだけ先輩の若者サポーターが、あなたの困りごとや迷いごとと一緒に考えてみます。

- サポートの内容: 地域を元気にする活動をするための相談やアドバイス、実践など(単なるお手伝いはご遠慮ください)
- サポートの時間: 1団体(1人)あたり6時間まで
- サポートの料金: 無料
- お申込み方法: ウェブサイト「おこしあいネット」のお申込みフォームから送信するか、若者支援コンシェルジュまでお電話ください (TEL 080-4732-3804)。



## cocotomo ~ここへきてともにはじめよう~

### 子育て支援団体 cocotomo 大泉 まりさん



(Instagram)

Contact

myall.a.love@gmail.com



#### ★活動内容

山形県の子育てママのニーズに答えるために、決まった拠点を設けず、各市町村で飲食店を間借りし、子連れで楽しめるイベントと合わせた見守りランチ会を月2回程度実施しています。託児ではなく、お母さんの目の届く位置にキッズスペースを作り、お母さんが食事している間、お子さん同士がタフやボランティアの大学生と共に見守っています。また子育て支援や地域の繋がりを大切にしている方々と一緒に子連れで楽しめるイベントを企画し、マルシェではワークショップ

#### ★これから

イベントを山形市中心に活動してきましたが、子育て支援は山形市近郊の市町村でも求められています。今後は「どこでもcocotomo」として、地域のカフェとコラボしてイベントや見守りランチ会を行っていく予定です。山形で子育てをしているママやパパ。そして応援してくれているおじいちゃん、おばあちゃん、地域の方々と共に子育てを支援していきたいと思えます。そして、子育て世代以外の方とも繋がり、世代を超えいろいろな方が活躍できる場としてイベントの企画なども行っています。

#### ★地域への想い

山形県内は無料の児童遊具施設が充実していますが、お母さんがゆっくり食事できるような子連れで気軽に行けるお店が多くありません。普段は子ども優先で、「ゆっくり食事も取れない。自分の時間が持てない。子育ての不安や困っていることを話せる相手がない。一人で出かけるのは罪悪感を感じる。」そんな孤立しがちなお母さんたちがほっと安心して美味しい食事をゆっくり食べてほしい。そんな想いで活動しています。子育てしやすく、自分にとって安心する居場所、人と繋がる場所がたくさんある山形になってほしいと思います。

## 修行中の坊主

### 西川町地域おこし協力隊 中川 拓夢さん



(Instagram)

Contact

090-9984-1035



#### ★活動内容

現在、山形県西川町で地域おこし協力隊をしながら、京都市の北区で起業家シェアハウスの運営をやっています。西川町では空き家を活用し「たじもと食堂」という地域の方々に向けた食堂の運営や除雪や地域のお困りごとを解決するインターンを受け入れたりしています。他にも大井沢にあるサウナ材の運営や町のイベントのお手伝いなどもしています。

#### ★地域への想い

西川町でいいなと感じることは、町民がこの街を本気で良くしようとする情熱があることです。30代から60代まで幅広い世代が主体性を持って行動している。例えば地域のママさんたちが子どもたちに向けたイベントを月1回程度のペースで開催したり、町長と町民との対話会では参加者が多いのも嬉しいこと、どんな意見が出るかがすごい。これだけ町民一人ひとりがこの町を本気で良くしたいと思っているのは珍しい自分も負けてられない。

#### ★これから

今後の展望としては西川町に若者を呼びたい。西川町は高齢化が進んでいたり、高校、大学が無いということもありなかなか若者がこの町に残ることがない。そこで僕は空き家を使って若者が集まれる拠点を作りたい。その中で出た意見や思いなどをどんどん形にして面白い若者がたくさん生まれる町にしたいです。

